

法 学 号 外
平成 28 年 4 月 19 日

各 私 立 学 校 長 様
(小・中・高)

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

「あすチャレ!スクール」パンフレットについて
このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

【担当】私学振興担当 中村

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

2016年4月15日

各都道府県私立学校主管部課 御中

日本財団パラリンピックサポートセンター

「あすチャレ！スクール」パンフレット送付の件

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンターでは、全国の小中高等学校を対象としたパラアスリートとのパラスポーツ体験プログラム「あすチャレ！スクール」を平成28年度4月より実施校募集を開始いたしました。

先日、スポーツ庁のご協力を賜り「平成28年3月15日付け事務連絡」にて概要をご案内させていただいておりましたが、事業内容を記載したパンフレットが完成いたしましたので、お送りさせていただきます。是非ご覧いただき、当事業の周知にご活用いただけますと幸いです。

なお、4月8日（金）には、下記URLにて「あすチャレ！スクール」ホームページを開設いたしましたので、併せてお知らせさせていただきます。

当事業を通して、全国の児童生徒がパラアスリートと接することやパラスポーツを体験すること等を通じ、障害についての学習及び気づきの機会を提供していきますので、引き続きご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

<送付内容>

・「あすチャレ！スクール」パンフレット 10部

<ホームページ>

「あすチャレ！スクール」 <https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/>

以上

<お問合せ先>

日本財団パラリンピックサポートセンター内「あすチャレ」事務局

Tel : 03-6229-3721 Mail : asuchalle@parasapo.tokyo



心が動く、明日を変える

あすチャレ! School

Challenge For Tomorrow

ココロとカラダで、気づく、

学ぶ。その体験が子どもを変える。



あすチャレ! Schoolとは

それは、子どもにとって貴重な、学びの機会を提供する体験型授業。
パラアスリートと共にスポーツを体験し、リアルな声を聴くことで
きっとこれまで見ていた景色が変わり、

新たな一步を踏み出すきっかけが生まれることでしょう。

人間の多様性を認め合い、人間の強さやすごさを

身をもって体験することで、

子どもたちの心が動き、新たな学びにつながります。

誰もが夢と希望を持って、いきいきと過ごせる社会を創る。

これが私たちの掲げる

“明日へのチャレンジ”、「あすチャレ!」です。

「想い」を必ず「行動」に。

Challenge For Tomorrow



「あすチャレ! School」で 楽しみながら伝えたい、気づきと学び

障がい者が抱える一番の障がい。それは、身体上の「障がい」ではなく、
社会に存在する「障がい」だと考えます。

その「障がい」は、社会で生きる一人一人が視点を変え、

気づいたことを行動に移す勇気があれば、取り除くことができます。

「あすチャレ! School」はパラスポーツによるプログラムを通じて、

「i enjoy!」の精神を胸に、参加者に気づきを与え、

意識を変え、行動(明日へのチャレンジ)につなげます。



パラリンピックサポートセンターの
キーメッセージ
「楽しむ人は、強い!」

4つの学び

Inspiration

他者のことを 自分ごととして考える心

他者が抱える問題を自分のこと、同じ仲間のこととして
捉える力を持つ大切さを学ぶことができます。

Equality

障がいとはなにか?

「障がい」とは「障がい者自身」が持つものではなく、
社会に存在するものとする考え方や
多様性を認め合うことの大切さを学ぶことができます。

Courage

可能性に挑戦する勇気

「障がい」の有無に関係なく、すべての人が個々の
可能性を持っていることに気づき、勇気を持って
挑戦することの素晴らしさを学ぶことができます。

Determination

「夢」や「目標」を持つ力

パラアスリートがアスリート生活を通じて
経験してきた夢や目標を持つ価値と重要性について
直接話を聞くことで肌で感じるすることができます。

※「Inspiration」「Equality」「Courage」「Determination」は国際パラリンピック委員会が掲げる4つの「Paralympic Values」です。

講師紹介

根木 慎志

シドニーパラリンピック男子車椅子
バスケットボール日本代表キャプテン/
日本財団パラリンピックサポートセンター
「あすチャレ!」プロジェクトディレクター



岡山県生まれ。高校3年生の時、突然の交通事故で脊髄を損傷。以後、車椅子
での生活となるが知人の勧めで車椅子バスケットボールに出会う。2000年
シドニーパラリンピックでは男子車椅子バスケットボール日本代表キャプテンを
務める。現役時代から「出会った人と友達になる」というライフテーマをモットー
に全国各地の小中高等学校を訪れ、講演やパラスポーツ体験授業を行ってきた。
現在はこれまでの経験を活かし「あすチャレ! School」の講師として全国
各地で授業を行う。日本パラリンピック委員会運営委員も務める。

根木先生の
「あすチャレ!」

出会った人と
友達になる
根木慎志

スクール開催までの流れ

お申込み

別紙「開催申請書」に必要事項を記入し、事務局へご応募ください。

※ご応募はFAXのみでの受け付けとさせていただきます。
※自治体や教育委員会から応募される際は、予め事務局へお問合せください。

実施日決定

申請頂いた希望日時をもとに日程調整をおこない、事務局が実施日を決め、担当者さまにご相談のご連絡をいたします。

事前お打合せ

ご相談の上、実施日が確定しましたら、電話・メール等でプログラムの流れや内容について、お打合せを行います。

スクール当日

パラアスリートの講師によるデモンストレーション、体験会、講話の3部構成でスクールを実施いたします。

ワークシート提出

「あすチャレ!スクール」で学んだこと、気づいたことをワークシートに記入いただき、事務局へご提出いただきます。



ハート(こころ)をモチーフにした「あすチャレ!キーホルダー」を参加者全員にプレゼント。自分の「あすチャレ!」を書くことができます。



当日プログラム 90分

パラスポーツ デモンストレーション

30分

- パラアスリートのハイパフォーマンスを生で見ることで迫力やスキルを肌で感じ、「すごい」「カッコいい」を体感しながら、障がいに対する意識の転換を図ります。
- 「応援」することにも着目し、ただプレーを見るだけでなく、応援することの意義、効果、力を実感することができます。



パラスポーツ体験

30分

- パラスポーツを体験することで「楽しさ」「難しさ」を頭で理解するのではなく、体を使って理解することができます。
- ミニゲームを行う代表生徒と、それを応援する参加者全員に一体感が生まれ、難しいことにも一生懸命取り組むことの大切さを体感することができます。

※体験できる人数は、参加人数によって異なります。



講話

30分

- 参加者からの自由な質問に講師が答えることで、参加者の積極性を引出し、障がいに対する疑問や誤解を解消することができます。
- 講師がパラスポーツを通じて得た経験・教訓を交えながら、「4つの学び」について参加者と考えます。



ワークシート

スクール終了後、気づいたことや学んだこと、自分にとっての明日へのチャレンジ「あすチャレ!」をワークシートに記入し、後日事務局へご提出していただきます。

当日ご用意頂くもの



バスケットボール(2~3個)



マイク(1本)



ピンマイク(1セット)



体育館用シューズ(参加者全員)

※ご用意できない場合は、ご相談ください。
※当日、車いすの搬入等々を職員の方にお手伝い頂く場合があります。

応募要項

実施地域

- 全国(一部地域を除く)

お申込み

- 右の「開催申請書」をA4用紙にコピーするか、もしくは下記のホームページより「開催申請書」をダウンロードいただき、必要事項を記入の上、FAXにてご応募ください。
- 実施したい日程の1か月前までに、応募受付期間にお申込み頂く必要があります。応募受付期間については、HPに詳しく掲載しておりますので、必ずご確認ください。
(「あすチャレ!スクール」HP:<http://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/>)

※実施希望日については、各学校とスケジュール調整を行い、第一希望～第三希望の中から決定します。

※地域、時期によっては対応できかねる場合もございますので、予めご了承ください。

実施対象

- 小中高等学校・児童生徒

※学校以外で本プログラムを実施したい場合は、別途ご相談ください。

実施人数

- 1学年～300人程度(応相談)

※バラスポーツ体験は、人数によって体験する児童生徒を事前に選考していただきます。

実施時間

- 90分

実施場所

- デモンストレーション、バラスポーツ体験、講話とも体育館にて行います。

実施費用

- 実施にあたり、事業費の一部として30,000円/回(交通費含)をご負担いただきます。

※事後のお振込みにてお支払いください。

主催 日本財団パラリンピックサポートセンター

※2016年度の本事業は、中外製薬株式会社の寄付により実施しています。

開催申請書

こちらをA4用紙にコピーし、
必要事項をご記入の上、
FAXにてご応募ください。

Webサイトでもダウンロード可能

<http://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/>

[※]の必須項目にご記入が無い場合は無効とさせていただきます。

学校名(施設名) ※				
住所 ※				
実施学年 ※		希望人数 ※		
電話番号 ※		ご担当者氏名 ※		
E-mail				
連絡可能な時間帯 ※				
第1希望日 ※	年	月	日	時 分 ~ 年 月 日 時 分
第2希望日 ※	年	月	日	時 分 ~ 年 月 日 時 分
第3希望日 ※	年	月	日	時 分 ~ 年 月 日 時 分
写真撮影について ※	スクール当日の写真を、パラリンピックサポートセンターの広報物として使用する場合がありますが、許可されますか? <input type="checkbox"/> 許可する <input type="checkbox"/> 許可しない			
マスコミ取材について ※	スクール当日、新聞・テレビなどのマスコミ取材が入る場合がありますが、許可されますか? <input type="checkbox"/> 許可する <input type="checkbox"/> 許可しない			
その他入校者について ※	スクール当日、他校の見学者や福祉関係者等が入校される場合がありますが、許可されますか? <input type="checkbox"/> 許可する <input type="checkbox"/> 許可しない			
上記、3点にご協力いただける学校を優先させていただく場合があります。				
その他特筆事項				

FAX送付先

日本財団パラリンピックサポートセンター内「あすチャレ!」事務局
〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4F
FAX:03-6229-3722

パラリンピックとは？

パラリンピックには、社会を変える力がある。

オリンピック終了後に同じ開催都市で行われている「もう一つの(Parallel)+オリンピック(Olympic)」

さかのぼること約70年前、スポーツをリハビリに取り入れていたイギリスのストーク・マンデビル病院が、院内で開催した患者によるスポーツ大会が始まりといわれている。

1960年ローマオリンピックと同じ年に行われた大会(第9回国際ストーク・マンデビル競技大会)を、後に第1回大会とし、1964年東京大会が第2回大会となった。



1964年に東京で開催された第2回パラリンピックには世界から約370名の選手が集まった



ロンドンパラリンピックで金メダルを獲得し、笑顔を見せるゴールボール女子日本代表チーム



世界最高峰の祭典を祝して、花火やアトラクションで華々しく行われる開会式＝ロンドンパラリンピック



クロスカントリースキーコースに掲げられた、パラリンピックのシンボル“アギトス”＝ソチパラリンピック

2012年ロンドンパラリンピックには164カ国、4237名の選手が参加し、観戦チケット販売枚数は約278万枚。多くの競技会場で観客席が満員になり、史上最多の観客動員数を記録した。今やパラリンピックは、オリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ、世界で3番目に大きなスポーツイベントに成長した。

そして、2020年、東京にパラリンピックがやってくる。同一都市で2回目の開催は、世界初のケースだ。パラリンピックの開催は、目に見えるハード面のバリアフリーはもちろんのこと、人々の意識を変える“心のバリアフリー”を成熟させる。その成功こそが、来たるべきインクルーシブな共生社会を実現するだろう。

日本財団パラリンピックサポートセンターについて

日本財団パラリンピックサポートセンター(通称:パラサポ)は、2020年東京パラリンピック大会の成功とパラスポーツの振興を目的に、2015年5月、日本財団の支援により設立されました。

日本財団ビル4階(東京都港区赤坂)には、パラリンピック競技団体(25団体予定)が入居・利用する共同オフィスを設け、団体間のコミュニケーションを促進する垣根のない開かれた場とユニバーサルデザインを徹底した空間を、競技団体、関連団体、スタッフ、パラアスリートと共有しています。

オフィスは選手と心をひとつに緊張感と誇りをもって働ける環境づくりを意識し、「スタジアム」をモチーフとした空間デザインを展開。パラサポのキャッチフレーズである「i enjoy!」をテーマに、選手や競技団体スタッフにも「自ら楽しもう」という思いを伝えます。またパラサポでは、「パラ駅伝」など様々なパラリンピックの普及啓発事業を行っています。



お問い合わせ

日本財団パラリンピックサポートセンター内「あすチャレ!」事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4F

TEL:03-6229-3721 FAX:03-6229-3722 Mail:asuchalle@parasapo.tokyo